

(3) 在ハナマ及ビエルサルバトルハ獨立公館設置の件

0142

RM'-0007

0342

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

國立公文書館アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

RM'-0007

0343

当館は現在メキシコの他にパナマ、コスタリカ、ホンデユラ不
エル・サルバドルの四ヶ国を兼任国として管轄し、又ニカラグア
グアテマラの二ヶ国についても事實上その事務を取扱つており、
近くこれら二ヶ国をも正式に管轄することになつておる。即ち本
使以下七名の陣容をもつ一館にて計七ヶ国の政務、經濟等一切の
事務を處理してゐるわけである。

ついては

五

0144

中米地域に独立公館を増設する必要性については従来よりも
三月の手紙にて屢々意見具申を致し、本省に於いてもその実現方に格段の御努
力をしてゐる次第であるが、今日まで実現を見ないのは洵に

總 5-
M'1.3.2

務課解長第9回公開

墨第三二九号
昭和三十年

昭和三十年八月四日

特命全權大

在メキシコ

000152

30.8.1
000152

A circular stamp with a diagonal cross over it. The text inside the circle is crossed out.

局
17
課

記帳

0143

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

處が地理的にも広範囲に亘り、且つ交通の連絡必ずしも良好でない斯る多數の国を一大使館で管轄することは鬼角諸事手不足を免れず、外交上又は経済上の実質的活動を行うことは事实上不可能に近いのみならず、儀礼的交際さえも充分尽し得ない実状である。(旅費及び人員の関係で一年一回本使及公使館員が各國を訪問するのが精一杯の有様である)従つて相手国からみても、日本は外交關係を設定し、公館を設置したとは言いながら、甚だ誠意のない遠方と解せられ易く、これに中米諸国特有の事大的思想と相俟つてペナマ政府の如きは我が國が独立公館を置かせざれば在本邦のペナマ公使館を廢止したいとの意向さえもらしている現状である。

又わが国の立場からみても、各種の国際會議等における投票その他に於いて「数」が問題となる場合に中米六ヶ国のその「数」としての方はわが国将来の国際場裡に於ける活躍を期する意味に於いて重視すべきにも拘らず、常日頃から活潑なる外交工作を行ひ得ない關係から幾多の不利を招く虞あるのみならず、中米諸国は南米諸国と異り、一般に經濟的に好況であり、わが国のドル、ドーネキダ市場として開拓及び研究の余地は充分あるにも拘らず、手が廻り兼ねてゐる有様である。これらの諸国はいづれも現在農業に依存しているか經濟開発、自國工業育成にも漸々力を入れんとする段階にて單純なる農業移民の入植の余地は殆んどないが、技術者^者移民或いは企業進出の可能性は充分あるものと期待せられ、

0146

0145

RM'-0007

0344

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

過去に於いては採算上の問題から打切りになつたが、コスタリカに於ける大洋漁業（株）の漁業提携、近くは県潤紡績（株）・ホサン・サルバドルに現地資本と共同の下に紡績工場を建設、操業することにあつており、其の他わが方の努力次第によつては中小企業の導入で話のまとまるものも相当ある現状である。

パナマに於いてはコロンのフリーゾンを利用し、雑貨、織維類のストックを常時保有せしめ置き、これを仲継地として中南米諸国に日本商品売込みを図れば相当の効果が期待せられ、是非考慮すべき貿易伸張策と考えられ、その他の国に対しても市場調査、宣伝、啓発を地道に実施すればわが国の商品進出の余地は相當あるものと認められる。以上の如く、中米諸国とは国交を一層緊密

化し外交活動を積極的に展開することにより、わが国に齊らすべき利益は相当大なるものがあると思われるにつき、来年度に於いては少くともパナマ、エキ・サルバドル両国に独立公館（公使館）設置を実現し、是非とも専任公使任命を期せられ、この場合にはパナマ公使をしてユスタリガ、ホンデニラスの公使を兼任せしめるのが最も適当と考えている。

万が一右の如き専任公使を伴う公使館設置が不可能の場合には従来在ドミニカ公使館に對して実施して來た如くメキシコ大使が各国の公使を兼任し置くことにするが、パナマ、エル・サルバドルの公館を独立せしめ、二名程度の館員を駐在せしめる

0148

0147

RM'-0007

0345

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

國立公文書館アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

方法を是非共御考慮願いたい。

近時中南米重視の声が漸く高まりつゝあるのは海に喜ぶべき現象であるが、必ずしもこれが裏付けとなる具体的な施策に欠ける感覚もあり、殊に米国を始め歓んどの大国が専任大使を之等の国に派遣している現状にも鑑み、中米諸国に対する具体的な策の第一歩として中米地域に於ける公館増設問題の解決を特に望みたい。

在外事務所設置年月日	国名	在外事務所設置年月日		
		設立年月日	開業年月日	在
五二一四二八	メキシコ	五二一四二八	五二一四二九	事務所
五二一四二九	ドミニカ	五二一四二九	五二一四三〇	
五二一四三〇	パナマ	五二一四三〇	五二一四三一	
五二一四三一	キューバ	五二一四三一	五二一四三二	
五二一四三二	エルサルバドル	五二一四三二	五二一四三三	
五二一四三三	コスタリカ	五二一四三三	五二一四三四	
五二一四三四	ホンデュラス	五二一四三四	五二一四三五	
五二一四三五	アルゼンティン	五二一四三五	五二一四三六	
五二一四三六	チリ	五二一四三六	五二一四三七	
五二一四三七	ウルグアイ	五二一四三七	五二一四三八	
五二一四三八	リオネジャネイロ	五二一四三八	五二一四三九	
在外事務所設置年月日	国名	在外事務所設置年月日		
		設立年月日	開業年月日	在
五二一四三九	サン・パウロ	五二一四三九	五二一四四〇	事務所
五二一四四〇	ペレーン	五二一四四〇	五二一四四一	
五二一四四一	ベルト	五二一四四一	五二一四四二	
五二一四四二	ヴェネズエラ	五二一四四二	五二一四四三	
五二一四四三	ボリビア	五二一四四三	五二一四四四	
五二一四四四	公 名 認 五 九 一	五二一四四四	五二一四四五	

外務省

0150

0149

RM'-0007

0346

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

は既に一九五二年に於て輸出三億ドル、輸入二億四千万ドル、世界年鑑一九五四年に依る一に及び、通商上、無視し得ないのみならず、国連始めの諸国際機構に於て六票を有する点、國際政治上からも大きな利用価値を有するのである。此等の点に着眼し、米国、西欧諸国等は本信末尾の附表にも見られる通り此の地域に於ける外交布陣を着々強化し、活潑なる經濟的、文化的活動を行つてゐる。我が場合、吳羽紡がエル・サルバドールに進出してゐるか、館員の出張の度びに我が実状が此の地域に於て知られていないことに今更驚する始末であり、現地に公館を設置し、強力を經濟外交、啓発活動を行えば、此等諸國に於ては工業化がなお未発達の段階にあるだけに更に企業進出も促進され、又雑貨、穀維品等の輸出の増大のみならず、軍械、工場開拓、移民政策の促進等にも大いに貢献することが期待出来る。

RM'-0007

0247

政米局長 次長 水田 第三課長 小林
墨第三一六号 昭和三十一年八月三日
外務大臣臨時代理 高崎 達之助 殿
在メキシコ 特命全權大使 久保田貢一郎
中米諸國駐在独立公館開設方要望の件
官房秘書官 本件に關しては既に機会ある毎に繰返し要望して來たところでは
官房秘書官 あるが、現在に至るもなお、その実現を見るに至つていないので、こ
会議局長 とに繰返し卑見を具進する次第である。
次、表けるが、此等諸国の人口総数は、一千万を越え、その貿易額合計
本邦に於ては、中米六ヶ国に対する認識は極めて貧弱なよう見
第三課長
主計室
事務官印
記帳了
11' 1.3.2.5
857
31.8.13
31.8.21
31.8.22
31.8.13
214
0151

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

の他、中米六ヶ国を兼任しており、予算的、時間的にの割約のため
館務に重大なる支障を來さず、年に一、二回の出張を行うことさ
え容易でない状態であり、到底實質的な外交關係を維持することは
不可能であるばかりでなく、本省その他より要請のある各種の
調査、資料の収集等にも多大の困難が存する次第である。

又、此等諸国のナショナリズムは、國が小さいだけに反つて盛
んであり、我が國が独立の公館を設置しない事實を以て、自國に對
する過少評価を示すものと看做す傾向も皆無とは云えず、例えは
パナマ政府が當方より行う各種の申入れにやゝもすれば非協力的
なのは同國か我國に公館を有するにもかゝわらず、我國は同國に
独立公館を設置していないためではないかと推測されるような上
しもある。

以上の諸点を御勘案の上、早急にパナマを始め、エル・サルバ
ドル（又はグワテマラ）等の中米諸国に独立公館が設置される
よう、更に格段の御努力方煩しく、此處に更めてお願い申し上
げる次第である。

中米諸國駐在、米國及び西歐諸國公館館員數表（大は大使館、公
は公使館の略、当該國に不在の兼任者を含まず）

	米國	英國	フランス	西獨	イタリア	スペイン	ベルギー
グワテマラ							
ホンデュラス	大（含武官二三）	大（含武官二六）	公四	大二			
ニカラグワ	大（含武官一四）	大（含武官一七）	公二	公二			
コスタリカ	大（含武官一三）	大（含武官一三）	公三	大二	一		
エル・サルバドル	大（含武官一六）	大（含武官一三）	公四	公二	一	大四	
パナマ	大四	大五	公二	公三	大二	大三	
	大一六	大一五	公三	公三	大一	大三	
			大一	大三	大五	大三	
			一	一	一	一	二

0154

0153

RM'-0007

0348